

## 日本の文化力発現のため、京都への文化庁等移転の実現を

近年、世界では、経済格差や文化・宗教の違いから、多くの争いが生じており、そうした中で、環境に調和し人が相和するという日本文化は、世界に貢献できる大きな役割を持っており、日本文化を世界に向けて発信していくことが、これまで以上に重要になっています。

しかしながら、政治・経済が集中する東京では、経済性や効率性が重視され、歴史や伝統に基づく多様性が求められる文化への関心が二次的になりかねません。我が国の文化行政の中核である文化庁等を東京から移転することにより、「政治・経済」と「文化」の二元化による文化力の発現を図ることが必要と考えます。

関西には、日本を代表する世界遺産や歴史に裏打ちされた伝統芸能・祭礼から現代芸術に至るまで、文化資源が数多く存在しています。中でも、京都は、人々の日々の暮らしの中に伝統や文化が今なお息づくなど、千年以上にわたり文化を守り・育んできた歴史と知恵があり、全国各地域への貢献が可能です。また、関西・京都には、国宝や重要文化財など国指定文化財の多くが集積し、文化財を保存・継承する人材の層も厚く存在しており、伝統文化の継承や伝統に基づく新たな文化の創造に加え、舞台芸術、現代芸術、映画・映像等コンテンツ分野の集積や人材育成の基盤もあります。さらに、京都迎賓館、国立京都国際会館、国立国会図書館関西館など交流・情報発信基盤も整っております。

こうした地域特性を有し、海外からも多くの芸術家、研究者、文化人等が訪れる文化と歴史のある街である京都に文化庁等に移転いただき、関西・京都の文化資源を大いにご活用いただくことで、

- ・歴史や伝統に根差した文化の継承や新しい文化創造の企画立案機能の向上
- ・文化財現場の近さを活かした効率的な業務執行や、蓄積された文化財活用の官民ノウハウを活かした全国各地の文化財保存活用策の企画立案機能の向上
- ・海外の文化人・文化行政関係者等に有形無形の伝統文化に触れていただくことができ、日本文化の海外発信の向上に寄与

など、我が国の文化行政の向上に貢献できるものと確信しております。

そして、暮らしに根付いた文化や伝統芸能等に日常から触れることのできる京都ならではの環境を活かしていただくことにより、文化行政の更なる発展に貢献できるものと考えます。

加えて、ICT技術なども活用した働き方の工夫や立地コスト等の低減により、行政のイノベーションにもつながります。

京都では、文化庁等の京都移転に文化芸術、大学、宗教、経済、行政等の関係者が一体となって取り組んでおり、京都全体で文化庁等の受入体制を整えて参る所存です。

つきましては、国におかれましては、文化庁等の京都移転を実現していただきますよう強く要望いたします。

平成27年12月 日

## 文化庁等移転推進に関する協議会

共同代表	京都府知事	山田	啓二
共同代表	京都市長	門川	大作
共同代表	京都商工会議所会頭	立石	義雄
	京都府神社庁長	田中	恆清
	京都仏教会理事長	有馬	頼底
	公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー理事長	村田	純一
	公益財団法人京都文化財団理事長	荒巻	禎一
	公益社団法人京都府観光連盟会長	柏原	康夫
	公益社団法人京都市観光協会会長		
	公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団理事長	長尾	真
	公益財団法人京都市芸術文化協会理事長	近藤	誠一
	公益財団法人大学コンソーシアム京都理事長	赤松	徹眞
	公益社団法人京都工業会会長	服部	重彦
	一般社団法人京都経済同友会代表幹事	増田	寿幸
		鈴木	順也
	株式会社京都新聞社代表取締役社長	黒田	清喜

## 顧 問

華道家元池坊次期家元	池坊	専好
京都日本画家協会理事長	上村	淳之
京都市立芸術大学名誉教授／国際日本文化研究センター顧問	梅原	猛
京都大学元総長／京都造形芸術大学学長	尾池	和夫
茶道裏千家前家元／ユネスコ親善大使	千	玄室
京都大学名誉教授／文部科学省第14・15期文化審議会委員	高橋	康夫
公益財団法人陽明文庫理事・文庫長	名和	修
京都工芸美術作家協会理事長	羽田	登
京都大学前総長／国立研究開発法人理化学研究所理事長	松本	紘
特定非営利活動法人日本料理アカデミー理事長	村田	吉弘
国際日本文化研究センター名誉教授	山折	哲雄
公益財団法人冷泉家時雨亭文庫常務理事	冷泉	貴実子